

1 市町村名 吉備中央町

2 内容

吉備中央町吉川の集落営農法人である(農)大明神組合(組合長:小柳恵一、組合員:19名)は、平成29年度から経営の多角化と効率的な農地管理の実証を目的に、遊休農地での和牛放牧に取り組んでおり、7月13日に初めて、子牛を出荷した。

「経営基盤強化促進対策事業」を活用して導入した牛は、高齢のため種付けがうまくいかず、改めて妊娠牛2頭を導入、昨年10月に雄牛1頭を出産し、もう1頭は6月に雌牛を出産した。今回の出荷は最初の雄牛で、約55万円で取引された。

小柳組合長は「取り組み当初は牛の世話を心配したが、牛が見えないぐらい茂っていた草がきれいになり、草刈りの手間が省けて助かっている。限界集落での実践も荒廃地を防ぐ有効な手段ではないか」と新たな取り組みに満足している。

普及指導センターと農畜産物生産課畜産班では、今後も町や農協と連携し、集落営農による和牛の周年放牧体系のモデルとして支援していくことにしている。

3 特記事項・補足事項

4 関連事業

経営基盤強化促進対策事業

